

平成 30 年 12 月 21 日

教育課程編成委員
学校教員

吉川福祉専門学校
教育課程編成委員
委員長 久田晴實

教育課程編成委員会報告

平成 30 年度第 2 回教育課程編成委員会について、下記のとおり報告します。

記

- 1 教育課程編成委員会出席者名簿
 - ①吉田 誠（吉川市健康長寿部副部長兼長寿支援課長）
 - ②小瀧竜一（特別養護老人ホーム吉川平成園 介護課長）
 - ③飯田里子（はとがや病院 総務部長）
 - ④久田晴實（吉川福祉専門学校 校長）
 - ⑤池上千恵美（ ” 教務部教員）
 - ⑥山本晃市（ ” 事務長代理）
 - ⑦田村貴章（ ” 事務部係長）

- 2 教育課程編成委員会の開催状況
日 時：平成 30 年 11 月 30 日（金） 10 時 40 分～12 時 10 分
会 場：吉川福祉専門学校 演習室
参加委員：教育課程編成委員 7 名
欠席委員：橋本かおり

- 3 教育課程編成委員会議事要録
別紙「平成 30 年度第 2 回教育課程編成委員会議事要録」のとおり

以上

平成30年度第2回教育課程編成委員会議事要録

開会

山本晃市委員の発声により、第2回教育課程編成委員会が開会された。

1 校長挨拶

久田晴實校長より、本委員会の開催に当たり来校いただいた各委員に対するお礼と、より良い教育課程編成のための活発な意見等をいただきたい旨の発言があった。

2 議長選出

山本晃市委員より、本委員会の議長として久田晴實委員長を指名する旨の発言があり、各委員の挙手により議長として選出された。

3 報告事項

(1) 第1回委員会報告について(資料1)

久田晴實委員長より、委員会報告は学校のホームページで公開されている旨の報告がなされた。

(2) 今年度の授業改善等に関する取組み状況について(資料2)

①専任教員の変更について(新任)

久田晴實委員長より、資料2に基づき、専任教員(小針臣子および濱野厚子)の変更について説明がなされた。

②非常勤講師の変更について(新任)

久田晴實委員長より、資料2に基づき、非常勤講師(大木敦子)の変更について説明がなされた。

③教職員に対する研修等の開催状況について

久田晴實委員長より、4月18日に開催されたHAL介護支援用(腰タイプ)管理者講習、6月17日に開催された専攻分野における実務に関する研修と、平成31年2月に開催予定の指導力の修得・向上のための研修について、資料2に基づき説明がなされた。

4 協議事項

- (1) 第1回委員会報告で示された意見、課題への取組み・改善の進め方について（資料3）

久田晴實委員長より、資料3に基づき、第1回教育課程編成員会で示された意見や課題に対する取組み方法や改善の進め方についての説明がなされた。

【質疑等】

<池上千恵美委員>

12月5日に国家試験の模擬試験と同じ内容の学力評価試験を受験する。11月下旬の3日間2年生は国試対策講座を3名の教員で実施した。受験生の出来具合によって合格ラインは変わる。

国家試験の問題は全部で125問あり、合格は75問以上の正答が基準となる。125問中の40問程度は介護現場での経験から答えやすい問題である。その他の45問程度は基本的な問題であり、この40問と45問（合計85問）をいかに取りこぼさないように指導できるかが国家試験合格のポイントのひとつである。

<吉田 誠委員>

吉川福祉の国家試験の合格率は？

<池上千恵美委員>

本校の平成29年度介護福祉士国家試験の合格率は88%であった。

<山本晃市委員>

本校の平成30年度介護福祉士国家試験の受験予定は21名であり、そのうち4名が留学生である。留学生の国家試験受験は本校にとって初めてである。東京のある学校では数十名の留学生が受験して0名であったという話を聞いている。母数が少ないので1人不合格なだけで大きな数字になってくる。

<吉田 誠委員>

多職種連携、特に医療と介護の連携が行政でも言われている。施設よりも在宅の話になるが、医療と介護の連携がまだまだの部分が多い。全国的な流れは理解してほしい。

<小潟竜一委員>

医療職は病気に着目していて、介護はどう生活しているかが中心。介護職は医療職の人に話すレベルが低いのではないかと思って言いづらい部分がある。介護側は生活全般伝えるのは必要であると思う。

<山本晃市委員>

実務者研修受講生の経歴が変わってきている。実際に福祉現場で働いている方も多く、昨年度はヘルパーの有資格者や初任者研修修了者などの受講生がほとんどだったが、今年度の実務者研修受講生は無資格者が7名いた。

<池上千恵美委員>

無資格者には「介護とは何か」から説明する必要がある。たまたま施設で働いているので分かることもあるようだが、無資格者の7名は何をやっているか分かっていない様子も見られた。

(2) 平成31年度教育課程(授業概要を含む)について

久田晴實委員長より、教育課程について他の養成校では4時限目(16時~17時くらい)までやっているところがあるが、本校では厚生労働省が定めている基準より多少多い総授業時間数としているが、他校と比べて授業時間数が多いとは言えない。2年生後期の時間割では午前中で授業が終わっているが、来年度から国家試験対策を1年生の後期から1コマいれようと思っている。また、4コマ目(4時限目)に留学生を対象とした日本語指導の講座を実施しようと思っている。

国家試験対策や日本語指導講座の実施に向けて、教育課程の一部変更(2科目程度を1年次の履修から2年次の履修へ変更)も検討している。

【質疑等】

<小潟竜一委員>

時間割の中に国家試験対策授業を盛り込むことはとてもいいと思う。また、介護実習で実習生を受け入れる際に、学生が実習先で実施していることとダメなことをもう少し詳しく記載してもらえると助かります。

<池上千恵美委員>

実習先でケアカンファレンスに参加させていただく学生が少しずつ増えてきており、とてもありがたい。

<久田晴實委員>

ケアプランの作成や個別援助計画を立てる際の学生の力量が足りていないと感じている。

<飯田里子委員>

吉川福祉専門学校の卒業生には、今後現場ではさらに求められる多職種協働の中、例えば生活動作の中で「こういう形になったら、〇〇さんをトイレに行かせることが出来ると思います」など、みんなの前で意見が言えるような介護福祉士になってもらいたい。介護職としての自信を大切にしてもらいたい。

(3) その他
特になし

5 確認事項

(1) 議事録及び第2回委員会報告書の作成について

久田晴實委員長より、本委員会の議事録及び第2回教育課程編成委員会報告書の作成は学校事務局で行う旨の発言があり、すべての委員において確認された。

(2) 第2回委員会で示された意見、課題への取組み・改善の進め方について

久田晴實委員長より、本委員会で示された各委員からの意見等について、教育運営の改善のために活用する旨の発言があり、すべての委員において確認された。

また、久田晴實委員長より、今後も教育運営の改善に向けての協力を依頼する旨の発言があった。

6 その他

(1) 事務連絡

山本晃市委員より、事務室窓口において委員会出席報酬と交通費の精算をさせていただく旨の説明がなされた。

(2) 次年度開催予定

山本晃市委員より、来年度の委員会開催は6月または7月に予定されており、学校事務局から日程調整をさせていただく旨の説明がなされた。

閉会

久田晴實委員長の発声により、第2回教育課程編成委員会が閉会となった。